

東京湾海況情報 18-05

東京湾水質調査結果（平成18年8月分）

平成18年8月11日
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

東京湾水質調査結果(平成18年8月分)

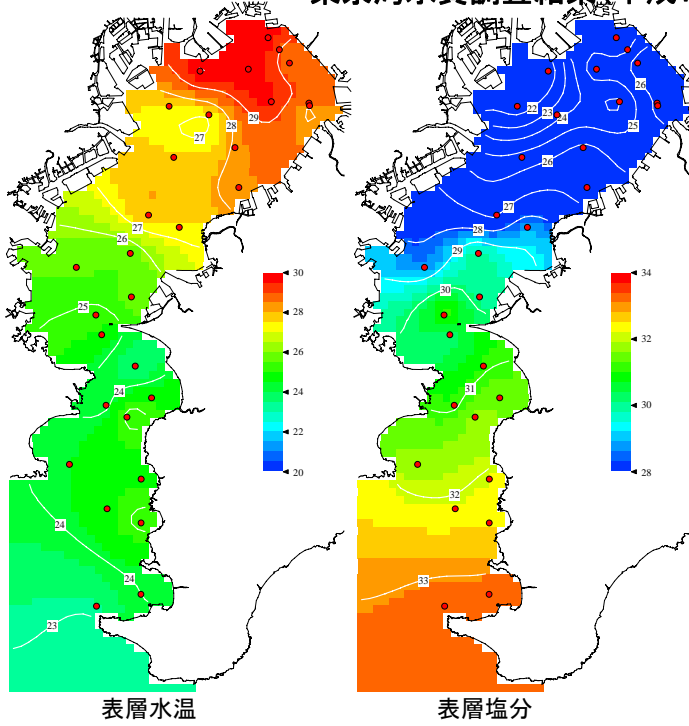


図1 東京湾の水温・塩分分布

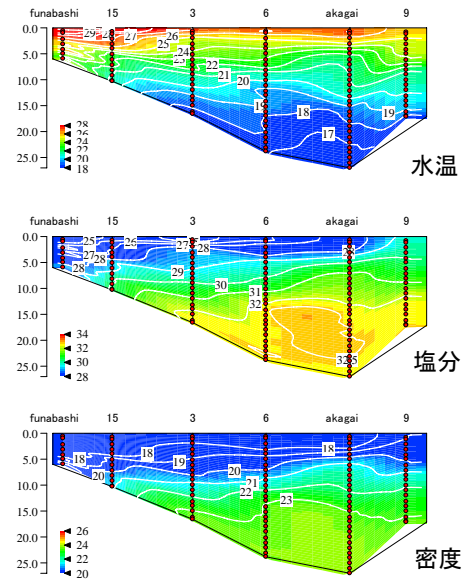


図2 内湾の鉛直分布

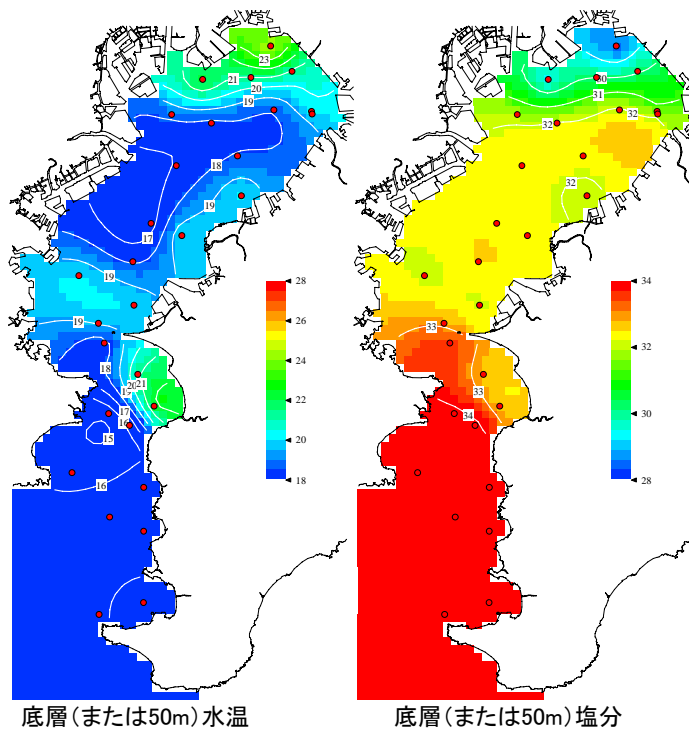


図3 内房海域の鉛直分布

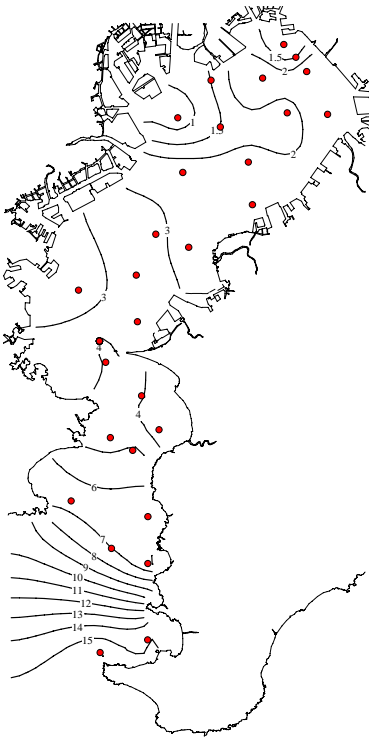
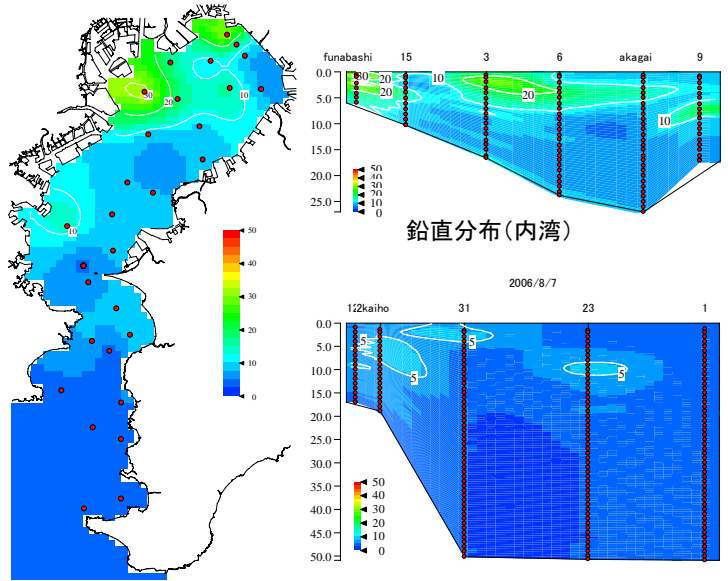


図4 透明度の分布 (単位 : m)

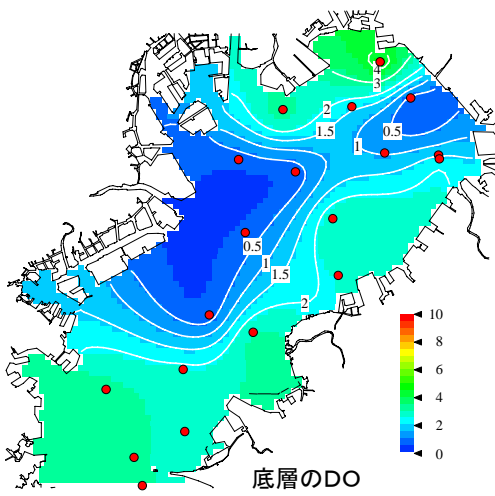


表層の分布

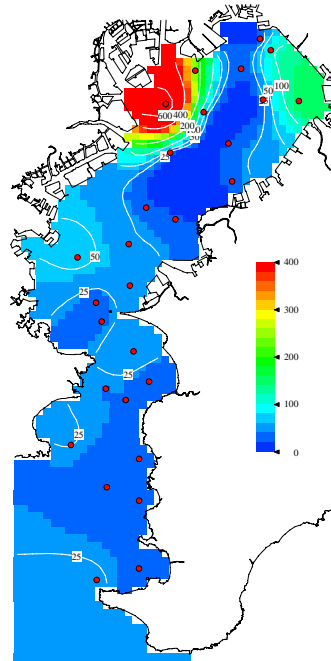
鉛直分布(内湾)

鉛直分布(内房)

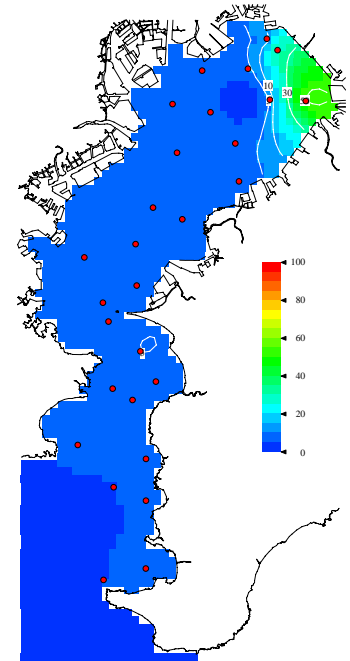
図5 クロロフィル a (センサー値) の分布



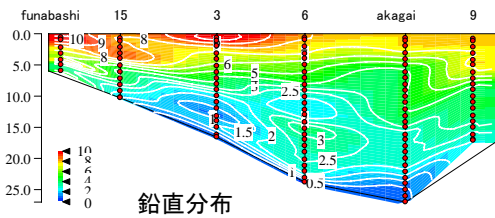
底層のDO



表層のDIN

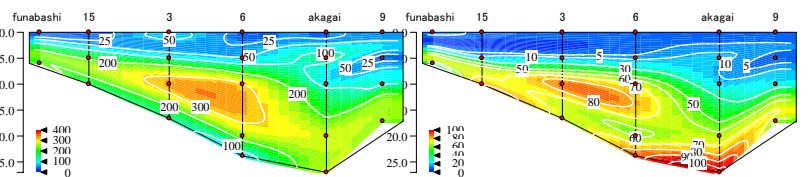


表層のPO₄-P



鉛直分布

図6 内湾海域のDO分布



DINの鉛直分布(内湾)

PO₄-Pの鉛直分布(内湾)

図7 栄養塩の分布

水温・塩分(図1~3、表1)

表面の水温は、内湾25~30℃(平年より1~2℃高め)、内房23~25℃(平年より1~3℃低め)でした。表面の塩分は、内湾21~30(平年より1~3低め)、内房30~34(平年より0~1低め)でした。南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温15~25℃、塩分24~33でした。水深5~10mに等密度線が集中し、成層構造が発達していました。内房は水温14~23℃、塩分30~34でした。

赤潮の状況(図4、図5、表1)

赤潮は北西部(東京灯標から船橋にかけての海域)の海域に発生していました。優占種は、珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)とキリンドロテカ(*Lcylindrotheca closterium*)でした。赤潮の目安となる透明度は、内湾海域1~4m、内房海域4~16mでした。表面のクロロフィルa(センサー値)は内湾海域5~30μg/l、内房海域5μg/l以下でした。

千葉県の赤潮の目安(内湾海域)は

「海色：オリーブ色~褐色、溶存酸素の飽和度：150%以上、透明度：1.5m以下、pH：8.5以上、クロロフィルa量：50μg/l以上」としています。

貧酸素水塊の状況(図6、表1)

船橋地先以外の海域の底層に、貧酸素水塊が分布していました。なお、貧酸素水塊により内湾北部には無生物状態の海底が広く分布していました(8月5日、底びき網による生物調査結果)。気象条件(北寄りの風の連吹)によっては青潮が発生する可能性もありますので注意して下さい。なお、水産総合研究センターでは溶存酸素量2.5ml/l(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水としています。

栄養塩類(図7、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、浦安から東京灯標付近と千葉港以外は50μg/L以下で平年より少なかったです。また、表層のリン酸態リンは千葉港付近以外は10μg/L以下でした。鉛直分布によると、底泥からの栄養塩の溶出により中層~底層では栄養塩が多かったですが、成層が発達し水塊の鉛直混合が妨げられたため表層の栄養塩は少なくなっていました。

黒潮の動き(図8)

黒潮は、遠州灘沖を東進し御蔵島を通過した後、房総半島沖を北東に流れていました。大島の東側に暖水の差し込みが見られますが、東京湾への顕著な影響は無いものと思われます。

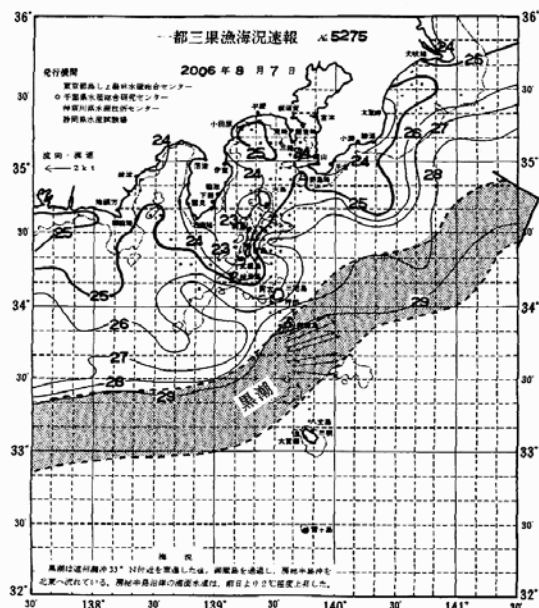


図8 黒潮の動き

表1 主な調査点の水質調査結果(表面)

調査年月日：平成18年8月7日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (mg/L)	溶存無機態窒素 (μg/l)	リン酸態リン (μg/l)	アンモニア態窒素 (μg/l)	クロロフィルa量 (μg/l)
船橋	1.0 (1.5)	29.8 (27.6)	24.36 (25.48)	9.0 (8.6)	4.3 (3.3)	2 (215)	9 (23)	0 (96)	30
st. 15	2.7 (1.3)	29.8 (27.9)	25.41 (25.25)	8.9 (8.7)	1.6 (2.8)	5 (206)	3 (20)	2 (67)	8
st. 3	1.5 (1.9)	27.0 (27.0)	23.73 (27.06)	9.0 (8.6)	0.2 (0.8)	66 (257)	2 (21)	5 (83)	17
st. 6	2.4 (2.0)	27.5 (26.8)	25.34 (26.03)	9.0 (8.6)	0.2 (1.2)	15 (268)	1 (16)	7 (72)	8
st. 9	3.6 (2.5)	25.5 (26.3)	29.53 (29.25)	8.7 (8.5)	2.1 (2.2)	28 (118)	1 (15)	10 (59)	6
盤洲Cブイ	2.5 (2.1)	29.3 (26.6)	26.68 (29.16)	8.9 (8.6)	2.1 (3.3)	16 (116)	2 (14)	7 (57)	7
st. 8 (盤洲Aブイ)	2.5 (2.3)	27.3 (26.1)	28.51 (29.99)	8.7 (8.5)	2.7 (1.9)	8 (124)	2 (16)	4 (60)	5
富津ベタ	3.6 (2.4)	25.4 (25.3)	29.74 (30.62)	8.7 (8.3)	2.3 (2.9)	41 (83)	1 (10)	10 (34)	6
第2海ほ下	4.0 (4.4)	24.7 (26.1)	30.05 (30.95)	8.3 (8.4)		17 (58)	4 (8)	10 (35)	4
st. 31	4.5 (6.7)	23.9 (25.7)	30.92 (31.85)	8.2 (8.4)		21 (55)	2 (7)	15 (37)	5
st. 23	7.0 (13.6)	24.6 (25.8)	32.13 (32.81)	8.2 (8.3)		12 (45)	0 (2)	8 (39)	1
st. 1	16.0 (14.8)	23.1 (25.7)	33.28 (33.64)	7.9 (8.2)		28 (41)	0 (2)	19 (34)	0
st. 10 (下洲沖)	4.0 (4.2)	23.4 (25.8)	30.95 (31.39)	8.2 (8.4)		39 (46)	5 (7)	29 (30)	
st. 12 (漆沖)	3.5 (5.0)	24.5 (26.1)	31.51 (31.60)	8.3 (8.4)		9 (41)	4 (4)	6 (34)	
st. 22 (根由沖)	7.0 (9.9)	24.6 (26.3)	32.12 (33.04)	8.2 (8.3)		15 (16)	4 (6)	8 (13)	
st. 24 (富津沖)	6.0 (11.0)	25.2 (25.9)	32.38 (33.24)	8.2 (8.3)		19 (38)	2 (2)	11 (32)	
st. 26 (館山湾)	15.0 (11.7)	24.0 (25.5)	33.21 (33.45)	8.1 (8.3)		16 (44)	1 (4)	10 (35)	

クロロフィルa量はセンサー値
※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

資料：東京湾水質調査(8/7、内湾：わかふさ、内房：ふさみ丸) 海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト) 一都三県漁海況速報、東京湾口海況図